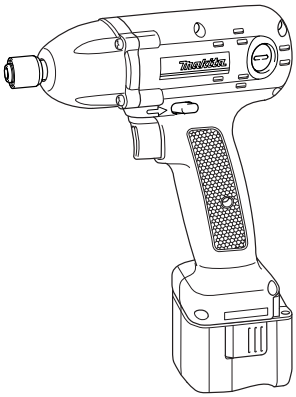
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

充電式 インパクトドライバ

無段変速・正逆転両用・ブレーキ付

モデル TD061D



このたびは**充電式 インパクトドライバ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

モデル / 主要機能	TD061D	
電動機	直流マグネットモーター	
バッテリ	ニッケル水素バッテリ	
	バッテリ B9017 (容量 1.7Ah)	バッテリ BH9020 (容量 2.0Ah)
電圧	直流 9.6V	
回転数	0 ～ 2,500min^{-1} (回転 / 分)	
打撃数	0 ～ 3,000min^{-1} (回 / 分)	
締め付けトルク	65N･m (663kgf･cm) M10(強度区分 10.9) 高力ボルト 3 s (秒) 締め付け時	
締め付け能力	コーススレッド：22～65mm　小ネジM4～M8 普通ボルト：M5～M12　高力ボルト：M5～M10	
機体寸法	長さ 164mm ×幅 66mm ×高さ 236mm	
質量 (バッテリ含む)	1.0kg (バッテリ含む)	

急速充電器	DC18RC	入力容量	410VA
入力電圧	単相交流 100V	出力電圧	直流 7.2-18V
入力周波数	50-60Hz	出力電流	直流 9A

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ･ ⚠注意 ･ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ･ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電工具共通の安全上のご注意

JPA008-10

⚠ 警告

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）電動工具を示します。

a) 作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
- 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。

3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
- 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
- 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

b) 電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
- 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
- 感電する恐れがあります。

3. 充電工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
- 充電工具内部に水が入り、本機による感電やバッテリが短絡する恐れがあります。

4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
- 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
- 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。

5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

c) 作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、充電工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。

・ 理解せずに使用することは危険です。

2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・ 疲れていたり，アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、充電工具を使用しないでください。
・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

3. 安全保護具を使用してください。

・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。

4. 不意な始動は避けてください。

・ スイッチに指をかけて運ばないでください。

5. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。

6. 無理な姿勢で作業をしないでください。

・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

7. きちんとした服装で作業してください。

・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

d) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った充電工具を使用してください。

・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本機から抜いてください。

・ 本機の調整
・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
・ 保管、または修理
・ その他危険が予想される作業

⚠警告

4. 使用しない充電工具は、きちんと保管してください。
・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した鍵のかかる所に保管してください。
5. 充電工具の保守点検をしてください。
・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

e) 充電工具の使用と手入れ
1. バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。
2. バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
・ ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
・ 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・ バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

⚠警告

f) 整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

・ 本機、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は，使用する前に修理を行ってください。
・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - 電源コードに深いキズや変形がある。
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)

4. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。
5. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
6. ご使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。

・ 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

7. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

・ 爆発や火災の恐れがあります。

⚠警告

8. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

9. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

10. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

11. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

12. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
- 発火、破裂の恐れがあります。

13. バッテリに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

14. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
- バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

15. 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く。）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。バッテリや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
- 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。

16. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式インパクトドライバ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式インパクトドライバとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB080-18

⚠警告

1. 耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
・ 騒音の大きい作業では、防音用保護具を着用してください。
・ 騒音にさらされ難聴の原因になります。
2. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用中は、振り回されないよう本機を確実に保持してください。
・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、ビットなどの工具類や回転部、切りクズなどの排出物に手や顔などを近づけないでください。
・ けがの原因になります。
5. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ビットなどの工具類や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業直後のビットなどの工具類やネジおよび切りクズは大変熱くなっていますので、触れないでください。
・ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 細径ドリルは折れやすいので注意してください。
・ 飛散して、けがの恐れがあります。

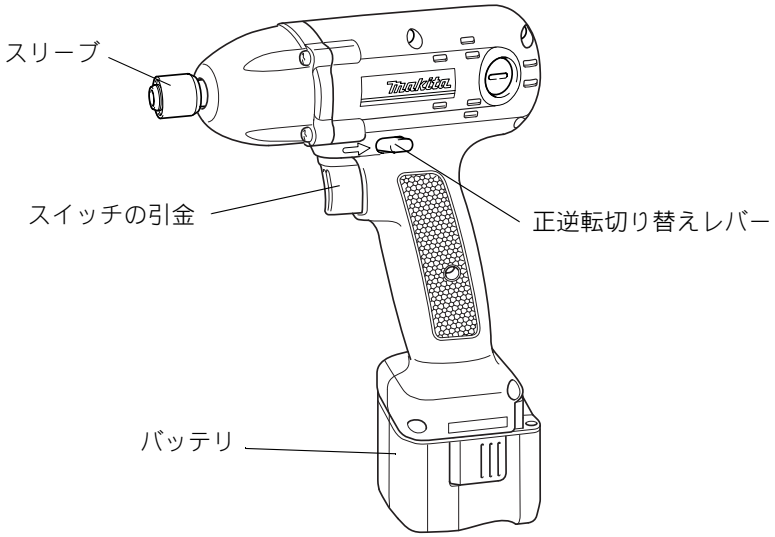
注

・ ネジに合った純正ビットをご使用ください。
・ ネジの適正締め付け力はネジの材質、サイズ、締め付ける材料などによって異なりますのでネジに合った締め付け時間で作業してください。
・ 電源が離れていて延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0 mm^2	30 m

各部の名称および標準付属品



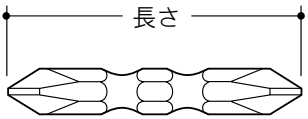
製品の組み合わせ及び標準付属品

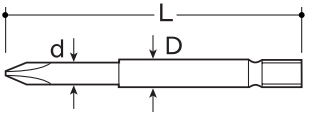
モデル / 標準付属品	TD061DZ	TD061DRH	TD061DRASP	TD061DRAX
バッテリ	×	● バッテリ B9017 1.7Ah	● バッテリ BH9020 2.0Ah 2本	● バッテリ BH9020 2.0Ah 2本
急速充電器 (充電時間)	×	● DC18RC (約 20 分)	● DC18RC (約 20 分)	● DC18RC (約 20 分)
⊕ビット 2-65	●	●	●	●
プラスチックケース	×	●	●	●

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

・ ㊉ビット

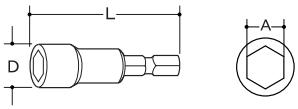




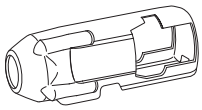
名称	L(mm)	梱包数	部品番号
No.2	45	10	A-06507
	65	10	A-06535
	110	10	A-06557
	150	10	A-06579
No.3	45	10	A-06513

名称	L(mm)	梱包数	部品番号
No.2	82	10	A-10562

・ ソケットビット

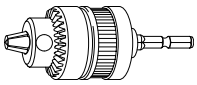


・ プロテクタ
部品番号：417349-5



ボルトサイズ	A(mm)	L(mm)	D(mm)	部品番号
M4	7	55	11	A-44292
M5	8	55	12.5	A-44301
M6	10	55	15	A-44317
	10	70	16	A-44323
M8	12	86	19	A-44339
	13	55	19	A-44345
	14	55	20	A-44351
M10	17	55	27	A-44993

・ ハイブリッドチャック
部品番号：A-15562



・ キーレスチャックセット品
部品番号：A-44769

・ ドリルチャックセット品
部品番号：A-44781

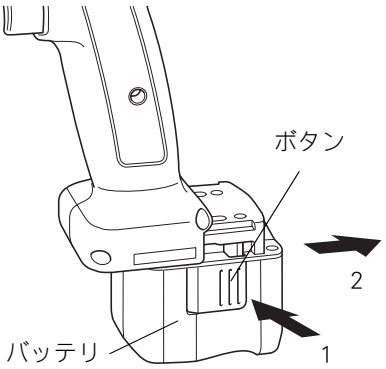
・ ビットピース
部品番号：A-44672



使い方

バッテリの取り付け・取りはずし方

・ バッテリを本機から取りはずす時は、バッテリ側面のボタンを押しながら抜くと取り外せます。
・ 取り付ける時は逆の要領で行ってください。

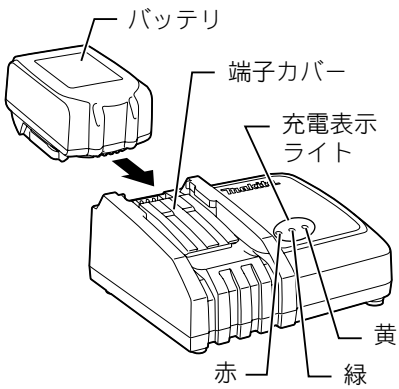


バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていません。（スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。）ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

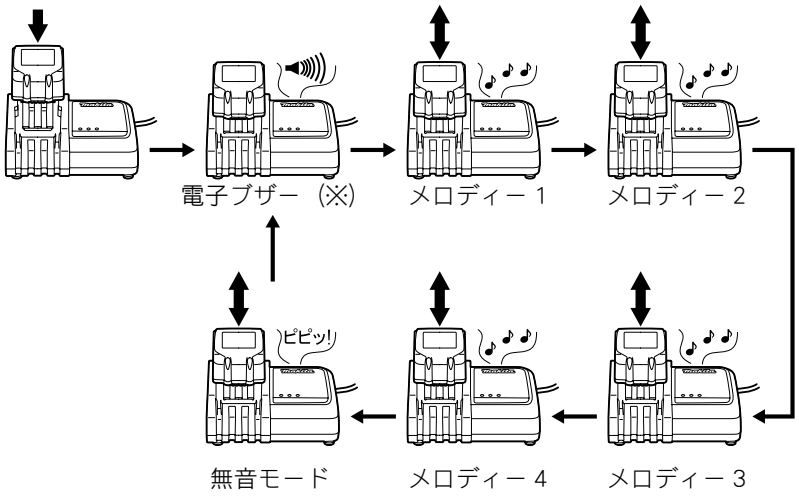
バッテリの充電方法

1. 急速充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリを急速充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーが短時間流れ、充電を開始します。
   充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。
   そのままバッテリを挿入しておけば、バッテリを冷却しながらトリクル充電を 24 時間行います。
   充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
4. バッテリを抜き取り、電源コンセントから急速充電器の電源プラグを抜いてください。



充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定（※）されている充電完了メロディーが短時間流れます。
2. この時、約 5 秒以内にバッテリを差し直すと充電完了メロディーが変わります。
3. 続けて約 5 秒以内にバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーが順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーが流れましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。
   「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは急速充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。



（※）出荷時は電子ブザーに設定されています。

使い方

充電表示ライトについて

ライト表示	表示内容
	充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
	冷却中「赤 1 個」点滅 バッテリが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
	充電中「赤 1 個」点灯 バッテリ容量約0～80％を示します。
	充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリ容量約80～100％を示します。
	充電完了「緑 1 個」点灯　電子ブザーまたはメロディー 充電完了後もバッテリを冷却しながら、トリクル充電を行い自然放電を防ぎます。
	充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅　電子ブザー バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。
	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリ寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

注

- DC18RC はマキタバッテリ専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- バッテリを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
- オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態に応じて変動します。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
  × 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  × バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
  × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、1 時間以上たっても充電が完了しない。
  (表示ライトが「緑」に変らない)。

トリクル充電について

- 充電完了後にバッテリの自然放電を防ぐため、バッテリを差し込んでおけば微小電流を流し続けて満充電の状態を維持します。
- 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却も行ないますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。

冷却システムについて

- バッテリの性能を十分に発揮させるため、急速充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- 冷却ファンが故障したり、急速充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行ないますが、充電時間が長くなることがあります。このような時は、急速充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅してなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- 急速充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
- 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理を申し付けください。

使い方

オートメンテナンス機能について（スライド式バッテリのみ）

・ オートメンテナンス機能は、バッテリの使用状態に応じて自動的にバッテリを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
・ 下記 1 ～ 5 の状態となった場合、特にバッテリ寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
  1. 高温充電の繰り返し
  2. 低温充電の繰り返し
  3. 満充電バッテリの再充電の繰り返し
  4. 過放電の繰り返し
     （過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です）
  5. 冷却システム異常での充電の繰り返し

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 使用直後などの熱くなったスライド式バッテリは、急速充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。差込式バッテリの場合は、少し冷してから急速充電器に差し込むことをおすすめします。
・ 長期間（6ヵ月以上）ご使用にならない場合、ニッケル水素バッテリは充電して保管し、ニカドバッテリは使い切った状態で保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。



ニカドバッテリは
リサイクルへ

Ni-Cd



ニッケル水素バッテリは
リサイクルへ

Ni-MH

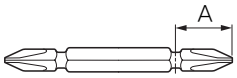
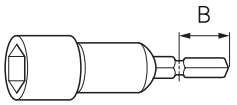
使い方

ビットの取り付け・取りはずし方

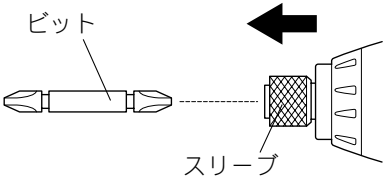
⚠警告

ビットや付属品等の取り付け・取りはずしの際は必ずバッテリを抜いてください。
- 本機が作動して、けがの恐れがあります。

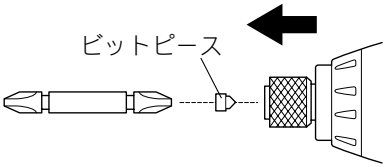
- ビット・ソケットビットは下記のものをご使用ください。
  それ以外は、使用しないでください。

	A ＝ 17mm B ＝ 14mm	このサイズのビットはそのまま使用してください。 (＊純正品は全てこのサイズです。)
	A ＝ 12mm B ＝ 9mm	このサイズのビットは下図のようにビットピースを使用してください。

- ビットの取り付けは、スリーブを矢印方向に引きビットを差し込み、スリーブを離してください。



- ビットピースを使用する場合は、スリーブを矢印方向に引きビットピース、ビットの順に差し込み、スリーブを離してください。



取りはずし方

- 取り付け方の逆の要領で行なってください。

注

- **ビットは奥までしっかり差し込んでください。不十分ですとスリーブが元の位置に戻らず、ビットの固定ができません。**

使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

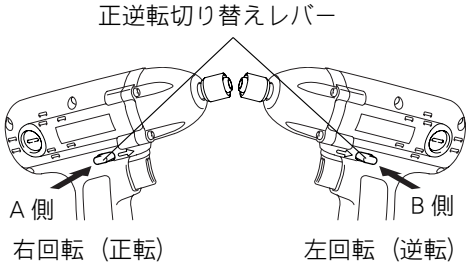
本機にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- スイッチを入れたままバッテリを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

- スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。
- スイッチの引金の引き加減により、お望みの回転数および打撃数が得られます。

正逆転切り替えレバーの操作

- 正逆転切り替えレバーのA側を押すと右回転（正転）し、B側を押すと左回転（逆転）します。
- 正逆転切り替えレバーを中間の位置にすると、スイッチの引金が引けなくなります。



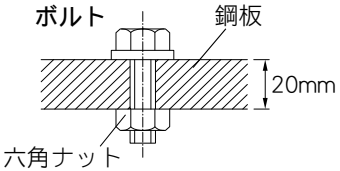
注

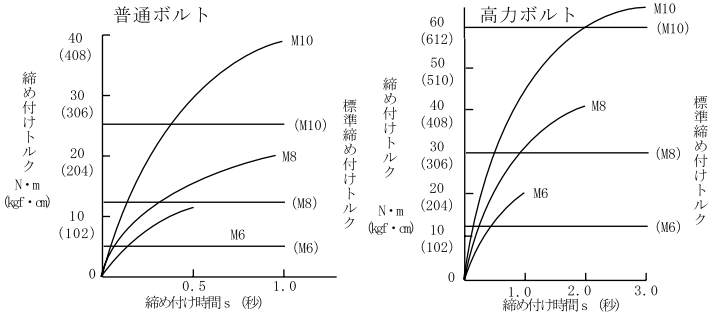
- **ご使用前には必ず回転方向を確認してください。**
- **正転・逆転の切り替えは、モーターの回転が停止した状態で行ってください。**
  回転中に切り替えますと故障の原因になります。
- **本機を使用しないときは、正逆転切り替えレバーを中間の位置にしておいてください。**

使い方

作業方法

- ネジの適正締め付けトルクは、ネジの材質・サイズ・締め付ける場所の材質などによって異なります。
- ネジの締め付けトルクと締め付け時間の関係は下図のようになっています。これらを参考にして適正な締め付け時間を選んでください。





※スイッチの引金を最大に引き込むまでの時間を含んだ値です。
ボルトは下記を使用しています。
普通ボルト：強度区分 4.8　高力ボルト：強度区分 10.9
強度区分の説明

4.8
↓ └→ ボルトの降伏点（引張強さの 80%）314N/mm^2（32kgf/mm^2）
ボルトの引張強さ 392N/mm^2（40kgf/mm^2）

注

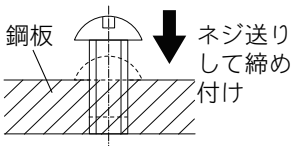
- **ネジに対して本機をまっすぐ持ってください。**
- **締め付け時間が長過ぎますと、ネジが伸びたり、折損したりすることがあります。また、ビット等工具類の寿命も短くなります。必ず実作業の前に試しに何本か締め付けて適正な締め付け時間を把握してください。**

・ ネジは下記の要因により締め付けトルクが変わってきますので、締め付けたネジが適正締め付けトルクになっているか、トルクレンチなどで必ず確認してください。

1. ビット・ソケットビット
・ サイズに合ったビット（ソケットビット）を使用しないと、締め付けトルクは低下します。
2. ボルト
・ 径の異なるボルトでは、トルク係数（ボルトの仕上がり状態により決まる係数、ボルトメーカで表示)、等級が同じでも締め付けトルクは異なります。
・ 同じ径のボルトでもトルク係数、等級、長さによって締め付けトルクは変化します。
3. 市販ビットの使用
・ 市販のビットで全長の長いもの、材質強度の弱いものは締め付けトルクが低下する場合があります。
4. 接続アダプタの使用
・ ユニバーサルジョイントやソケットアダプタ等を介して使用するとトルクは低下する場合があります。
5. その他
・ 締め付け場所により締め付けトルクは変動します。
・ 本機の持ち方により締め付けトルクは変動します。
・ スイッチの引金を引き込みきらない状態で使用しますと、締め付けトルクは低下します。

1 回の充電での作業量

・ 数値は参考値です。
・ 締め付ける場所の材質などにより異なります。
・ スイッチの引金を最大に引き込んだ状態での値です。

	サイズ	締め付け本数		材料
		バッテリ B9017	バッテリ BH9020	
木ネジ	φ4.3 × 65mm	約 80 本	約 90 本	ラワン
ネジ ボルト	M8 × 16mm	約 550 本	約 650 本	

注

・ 予備のバッテリを使用して連続作業をされる場合は、本機を 15 分以上休止させてください。

保守・点検について

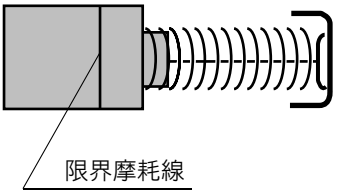
⚠警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリを抜いてください。

・ バッテリを本機に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

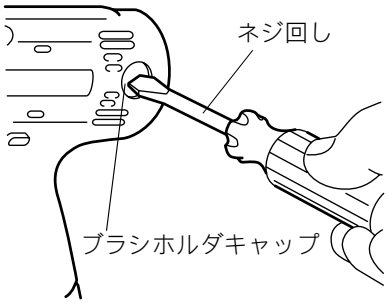
カーボンブラシの点検

・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。
このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



カーボンブラシの交換

・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
カーボンブラシは 2 個で 1 組になっております。取り替える場合は、必ず両側とも同時に行ってください。



保守・点検について

本機のお手入れ

・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

メモ

882162F4
NNP

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）